

学校だより

恵那市立岩邑中学校

温故知新

学校の教育目標

確かな学力 豊かな心 逞しい体

令和4年4月8日

『 令和4年度 スタート 』

校長 丸山 成之

昨日、始業式を行い、3年生44名と2年生47名、職員23名で令和4年度がスタートしました。その中では、2年生を代表して、吉村 美鈴さんが

「1年生の時、合唱の伴奏を繰り返し練習して取り組み、達成感を得ることができた。2年生になっても、自分が決めたことを実現するために粘り強く取り組む。」

3年生を代表して、丸山 夕月さんが

「最高学年として、チャレンジする気持ちを大切に、積極的に挙手発言していく。健康美化委員長として、みんなの健康を守るという気持ちで取り組む。学習を大切に、進路や将来に向けて歩む。」

と、新年度の決意を述べました。

また、本日は入学式を行い、34名の新1年生を迎え、全校生徒は125名となりました。

始業式と入学式では、私から「中学生としての姿」について話しました。

- ①「感謝できる」生徒。人は幸せだから感謝するのではなく、感謝することによって幸せになり、周りも幸せにする。「ありがとうございます」と心の底から感謝できる岩中生になってほしい。
- ②「ふだん力を培う」生徒。「ふだん力」とは、時間を守ったり、しっかりと掃除ができたり、あいさつが自然にできること。「ふだん力」が身についていることこそ、未来を生き抜く底力になる。
- ③「学ぶ楽しさを知る」生徒。中学校は教科担任がその専門性を生かして授業を行う。専門的な内容から、知的好奇心をくすぐられることが増える。「なぜ!?!」「そうなんだ!」など、学びを楽しんでほしい。
- ④「本に親しむ」生徒。本は心を豊かにする。物語から場面を想像することが、右脳を活性化させ、自分の能力を伸ばすことにつながる。最も多感な今だからこそ、文章を読むことで言葉を知り、言葉を上手に使いこなせる生徒になってほしい。
- ⑤「役に立つことのできる」生徒。家庭でのお手伝いでも、地域でのボランティアでもよい。中学校生活の中で、人に喜ばれ、役に立つ自分を見つけてほしい。

今年度も引き続き、感染予防対策を徹底しながら、少しでもできることを考えて、取り組んでまいります。ご理解とご協力をお願いいたします。